



第 94 号
 発行人
 (一財) 福 井 県 剣 道 連 盟
 会 長 片 山 外 一
 事務局
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
 サンライズ二の宮 1-B
 TEL・FAX (0776)28-6616
 メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

**福井しあわせ元気国体に向け県外遠征を
 倍増し選手強化**

国体実行委員会も開催準備を本格化

福井県剣道連盟の臨時理事会が三月十一日(金)に、臨時評議員会が三月十九日(日)に開催され、平成二十九年年度の事業計画および収支予算案の審議がなされました。

福井しあわせ元気国体まで残り一年半となり、選手強化はまさに正念場です。強化事業の予算では、国体に向けた成年・少年強化費について、二十八年度予算の一・五倍を超える事業費を計上し、県外遠征を倍増して強化します。

成年選手は、特に十月の愛媛国体までに、大阪府警や京都府警、警視庁、埼玉県警のほか、愛媛県、広島県など月二回の県外遠征を実施し、冬季もさらに茨城県、愛知県等への遠征を行います。

少年選手は、県内での強化合宿に加え、奈良県、京都府、愛媛県、岡

倍増し選手強化

山県、高知県、徳島県のほか、熊本県、福岡県等への九州遠征を行い、強豪高との対戦を増やし、強化を図ります。

また、スーパーアドバイザーの佐藤成明先生、高橋俊昭先生、神崎浩先生にご指導をいただく機会をさらに増やし、福井国体に向け、本連盟一丸となって選手強化を進めてまいります。

**国体実行委員会・強化錬成会を開催
 全剣連福本副会長をお迎えして**

昨年十二月には、全日本剣道連盟から副会長兼専務理事の福本修二先生および事務局主幹の青木孝先生を本県にお迎えし、福井県立武道館において、福井しあわせ元気国体に向けた国体実行委員会と強化錬成会を開催しました。

十二月十八日(日)に開催した第二回国体実行委員会には、委員約五十名が参加しました。

まず初めに、実行委員会担当副会長の北野副会長、実行委員長長の河越専務理事からのご挨拶の後、福本全剣連副会長から国体開催に向けた講話がありました。

国体は地域・県民が一体となつて力を合わせ、大会を開催し、地元が勝つて結果を出すことに非常に大きな意味があること。錬成会の選手の様子を見ていて、福井県の県民性はまじめで一生涯懸命だと思うが、本番でどこまで思い切った勝負ができるか、戦う気持ちを強く持つことが大事であること。子供たちにとつて国体も教育の一環として捉え、実行委員がリーダーとして取り組んでほしいことなど、叱咤激励の言葉をいただきました。

この後、岡田実行委員会事務局長から福井国体の概要や実行委員会の組織についての説明、岩手国体視察報告を全体会と分科会に分かれて行い、最後に全剣連の青木主幹から記録、放送など大会開催上の各業務の注意事項や役員・審判員への対応などのポイントをご教示いただきました。

今後、国体の開催準備に向け、実行委員会の業務をさらに進めてまい

ります。

また、前日の十二月十七日(土)には、成年男女強化指定選手、ジュニアアスリート強化指定選手、指導者約五十名が参加し、強化錬成会を開催しました。

錬成会においても、福本全剣連副会長から、技術的には一定のレベルに達しているが、相手を呑むような気魄が足りない。自分が日本一、世界一だという気持ちを持つて勝負すること。強化練習を行った後、漫然と時間を過ごすのではなく、計画性を持つて次の強化練習に臨むことなどのご指導をいただきました。

福井国体剣道総合優勝の実現に向け、一層の強化を図るため、非常に有意義な錬成会となりました。



福本全剣連副会長から講話をいただく

○福井国体競技役員(案)

(平成二十九年三月現在)

会場長 河越純二

総務委員長 全剣連

総務副委員長 全剣連

松井喜代治



分科会での岩手国体視察報告



北野副会長から挨拶

総務委員 西川 讓、岡田 要

山本英俊、森岡裕一

澤 昌、奥井俊雄

宮川保則、小林憲治

坂本裕一郎、松井香里

江指 恵、和田克枝

山田裕樹、澤田泰治

平口良一、岡田恵子

競 技 部

審判委員長 小原正豊、瀧口正之

選手委員長 大平達也、高野和樹

選手委員 小村雅恵、三宅直美

近藤高士

深川文恵、菊池 温

福嶋大晃、白崎文崇

中西 尚、遠藤永史

松田 実、高橋和人

山田寛人、梅垣昌稔

米納智弥

渡辺大介、三浦幸亮

河原德行、黒川文治郎

大良克己、佐々木昌広

山本澄人、田中秀幸

福田浩之、中西泰平

山田英典、石倉良純

橋本和樹

小辻省一、和田真吾

和中律英、高井茂嘉

高野修一、奥山 登

丸谷 寛

木下純子、上野早苗

速報委員長 稲田さとみ、南 梓

速報委員 板垣憲治

桑原佑介、服部真也

松沢洋祐、西村 愛

林 納理子

高山大輔

飯田雅裕、山本浩二

船田久三郎

塚田直人、刀祢敬則

川口和重、河原康徳

辻川広也

富田秀明

中谷実伸

丸山晃生

加藤昌広

伊川勇生、新谷勝利

長澤いづみ

総 務 部

総括・調整・諸会議班

岡田 要、森岡裕一

松井香里、岡田恵子

江指 恵、和田克枝

奥井俊雄、澤 昌

宮川保則、小林憲治

坂本裕一郎、平口良一

澤田泰治、山田裕樹

輸送・宿舍・接伴班

丸谷 寛

木下純子、上野早苗

岩崎貞夫先生
県体協体育功労者賞を
受賞

平成二十八年度の「公益財団法人福井県体育協会 体育功労者賞」に、県内二十六団体三十一名の方が選ばれました。福井県剣道連盟からは、前会長で現顧問の岩崎貞夫先生が受賞され、一月十三日に福井フェニックスプラザで行われた表彰式において、表彰状が授与されました。



大会報告行事報告

福井県剣道連盟
剣道・居合道 初稽古

平成二十九年一月八日(日)
於 福井県立武道館

雪のない穏やかな年明けとなった平成二十九年の福井県剣道連盟「剣道・居合道 初稽古」が、一月八日に福井県立武道館において開催されました。

県内各地区から、小学生、中学生、高校生、一般、計約一四〇名が参加したほか、今年は、愛知県西三河剣道連盟の先生方四〇名にご参加いただき、例年以上の活気ある稽古会となりました。

剣道は剣道大道場で、全員での素振りの後、高段者の先生方が元に立つての地稽古に移り、小中学生から一般まで気迫のこもった熱気溢れる稽古を行いました。

居合道は剣道小道場において、お互いに向かい合つての形の稽古など、張り詰めた空気の中、緊張感のある稽古を行いました。

参加者はそれぞれが、今年一年の精進を誓い、気持ちを新たにしました。

また、初稽古に先立ち、昨年十一月三日に全日本剣道連盟の剣道有功

賞を受賞されました本連盟審議会議長 岡田盛先生の伝達表彰式が行われ、片山会長から賞状と記念品が授与されました。



平成二十八年年度福井県
中学校冬季強化大会

平成二十九年一月二十一日(土)
於 敦賀市立体育館

福井県敦賀市立体育館において男子36校、女子27校で開催。結果は次の通り。

(男子の部)

準々決勝戦	明倫中	3	1	武生第二中
	武生第二中	1	2	気比中
	鯖江中	4	1	明道中
	三方中	0	3	中央中
準決勝戦	明倫中	3	0	気比中
	鯖江中	2	2	中央中

(本数勝ち)



三位決定戦	気比中	2	2	中央中
-------	-----	---	---	-----

(本数勝ち)

決勝戦

明倫中	2	1	鯖江中
-----	---	---	-----

(女子の部)

準々決勝戦	気比中	3	1	三方中
	松岡中	0	2	中央中
	明倫中	3	0	森田中
	武生第二中	0	3	今庄中
準決勝戦	気比中	3	1	中央中
	明倫中	1	3	今庄中
三位決定戦	中央中	2	0	明倫中
決勝戦	気比中	2	1	今庄中



平成二十八年度福井県 高等学校冬季選手権大会

平成二十九年一月十九日(土)
於 福井県立武道館

二年男子個人

- 優勝 前田 凱斗 (啓新高校)
- 二位 上村 周平 (啓新高校)
- 三位 堀 慎平 (北陸高校)
- 三位 刀根 航介 (敦賀高校)



二年女子個人

- 優勝 藤井 涼香 (敦賀高校)
- 二位 小辻 朋未 (敦賀高校)



- 三位 西澤 朱音 (北陸高校)
- 三位 遠藤 真 (丸岡高校)

一年男子個人

- 優勝 谷口 貴大 (敦賀高校)
- 二位 小嶋 耀介 (敦賀高校)
- 三位 北方 一誠 (敦賀気比高校)
- 三位 内田 大樹 (敦賀高校)



一年女子個人

- 優勝 堤腰 琴菜 (敦賀高校)
- 二位 田辺 有羽 (敦賀高校)
- 三位 山川 咲愛 (敦賀高校)
- 三位 池田二千花 (敦賀高校)



平成二十八年度北信越 高等学校剣道新人大会

平成二十九年二月四日(土)～五日(日)
於 富山県砺波市庄川体育センター
二月四日(土)、五日(日)に富山県
砺波市庄川体育センターで開催され
ました「平成二十八年度北信越高等
学校剣道新人大会」において、敦賀
高校が男子団体優勝を果たしました。
本県から男女各四チーム、北信越五
県で男女各二十四チームが出場しま
した。

○男子予選リーグ

- 武生0―5 金沢桜丘 (石川県)
- 武生0―4 龍谷富山 (富山県)
- 敦賀3―0 松代 (長野県)
- 敦賀4―0 魚津 (富山県)
- 啓新4―0 高岡南 (富山県)
- 啓新1―2 長野日大 (長野県)
- 敦賀気比0―3 新潟第一 (新潟県)
- 敦賀気比1―2 高岡工芸 (富山県)

○男子決勝トーナメント

- 準々決勝 敦賀2―1 羽咋工業 (石川県)
- 準決勝 敦賀3―0 金沢桜丘 (石川県)
- 決勝 決勝

- 敦賀1―0 新潟商業 (新潟県)
- 男子団体
- 優勝 敦賀高等学校 (福井県)
- 準優勝 新潟商業高等学校 (新潟県)
- 第3位 金沢桜丘高等学校 (石川県)
- 第3位 星稜高等学校 (石川県)

○女子予選リーグ

- 丸岡2―1 帝京長岡 (新潟県)
- 丸岡0―3 松代 (長野県)
- 金津0―2 龍谷富山 (富山県)
- 金津0―2 金沢桜丘 (石川県)
- 敦賀4―0 南砺福野 (富山県)
- 敦賀3―0 長野 (長野県)
- 高志1―0 日本航空石川 (石川県)
- 高志1―1 上田染谷丘 (長野県)



○女子決勝トーナメント
準々決勝

敦賀1ー2羽咋 (石川県)

ベスト8 敦賀高校

○女子団体

優勝 新潟商業高等学校 (新潟県)

準優勝 上田染谷丘高等学校 (長野県)

第3位 高岡工芸高等学校 (富山県)

第3位 羽咋高等学校 (石川県)

第11回福井県ジュニア育成
強化剣道大会

平成二十九年二月五日(日)

於 福井県立武道館

一年生の部

優勝 糊谷 龍星

(福井養正館)

準優勝 山田 典悠

(今立剣道スポーツ少年団)

第三位 橋本 羚生

(敦賀市剣道スポーツ少年団)

第三位 岩崎 吏生

(織田剣道スポーツ少年団)

二年生の部

優勝 森 三志朗

(鯖江剣道スポーツ少年団)

準優勝 常田和太郎

(福井養正館)

第三位 林 由佳

(鯖江志士樹館道場)

第三位 長山 侑生

(木田剣道スポーツ少年団)



三年生の部

優勝 奥平 大貴

(丸岡剣道スポーツ少年団)

準優勝 矢田部 暁

(織田剣道スポーツ少年団)

第三位 前田 恭吾

(福井養正館)

第三位 大石 杏早

(新風館愛宕坂道場)

四年生男子の部

優勝 東海 来夏

(福井養正館)

準優勝 安達 一織

(木田剣道スポーツ少年団)

第三位 米澤 龍馬

(木田剣道スポーツ少年団)

第三位 山本 天晴

(越前少年剣道クラブ)



四年生女子の部

優勝 山田 優生

(今立剣道スポーツ少年団)

準優勝 崎元 惟香

(福井養正館)

第三位 森川 沙恵

(福井少年剣道クラブ)

第三位 西山 実咲

(鯖江志士樹館道場)

五年生男子の部

優勝 森 陽輝

(鯖江剣道スポーツ少年団)

準優勝 宮嶋 凛太

(武道学園剣道教室)

第三位 北嶋 廉

(木田剣道スポーツ少年団)

第三位 伊藤 朋哉

(王子保スポーツ少年団剣道部)



五年生女子の部

優勝 杉原 歩佳

(鯖江志士樹館道場)

準優勝 重永 花歩

(福井少年剣道クラブ)

第三位 下中 沙友

(木田剣道スポーツ少年団)

第三位 大辻 悠夏

(芦原少年剣道教室)

六年生男子の部

優勝 宇野 竜明

(今立剣道スポーツ少年団)

準優勝 相馬 快成

(織田剣道スポーツ少年団)

第三位 崎元 蓮太

(福井養正館)

第三位 堀内 謙信

(福井少年剣道クラブ)



六年生女子の部

優勝 龍田 遥夏

(今立剣道スポーツ少年団)

準優勝 藤井 奏香

(王子保スポーツ少年団剣道部)

第三位 中村 光来

(五常館)

第三位 永棹 泉希

(金津少年剣道教室)



第65回全日本都道府県対抗剣道優勝大会および第9回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 福井県選手選考会

平成二十九年一月二十六日(日)

於 福井県立武道館

二月二十六日(日)に「第六十五回全日本都道府県対抗剣道優勝大会および第九回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 福井県選手選考会」が福井県立武道館で開催されました。

各地区剣道連盟から推薦された男女計六十四名が参加し、熱戦を繰り広げました。各部門の一位が代表選手として選考されました。

男子の全日本優勝大会は四月二十九日に大阪市の大阪府立体育館で、女子の全日本優勝大会は七月十五日に東京都の日本武道館で開催されました。

【第65回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 福井県選手選考会】

○先鋒(高校生)

一位 前田 凱斗(啓新高校)

二位 北島 正貴(丸岡高校)

三位 小嶋 耀介(敦賀高校)

○次鋒(大学生)

一位 川島 聖哉(福井工業大学)

二位 岡田悠貴彦(早稲田大学)

三位 西澤竜太郎(福井工業大学)

○五将(一般十八歳以上三十五歳未満)

一位 富田 成慈(福井刑務所)

二位 辻内 勇介(福井刑務所)

三位 中村 圭作(福井刑務所)

○中堅(教職員)

一位 林田 匡平(福井県立武道館)

二位 西川 航平(美方高校)

三位 久保田広行(敦賀高校)

○三将(警察職員)

一位 金子 亮介(福井県警機動隊)

二位 鹿本 裕登(福井県警機動隊)

三位 内藤 洋(福井県警機動隊)

○副将(一般 三十五歳以上)

一位 畑 祐一郎(福井テレビ)

二位 脇本 一誠(福井刑務所)

三位 相模宏二郎(武蔵屋)

○大将(五十歳以上 剣道教士七段以上)

一位 小辻 淳二(福井県立武道館)

二位 堀江 範雄(福井県警察本部)

三位 柳原潤一郎(大石小学校)



【第9回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 福井県選手選考会】

○次鋒(大学生)

一位 久島 早紀(福井工業大学)

二位 坂本 菜子(国士舘大学)

三位 飯塚 麻貴(福井工業大学)

○中堅（十八歳以上三十五歳未満）

一位 伊藤 藍子（啓新高校）

※一名のため、予選の試合はなし

○副将（三十五歳以上四十五歳未満）

一位 山田 聖子（工大福井高校）

二位 森 宜子（森歯科医院）

三位 高嶋 寿美（藤島高校）

○大将（四十五歳以上）

一位 道内由佳里（金井学園）

二位 江指 恵（宮崎小学校）

※先鋒（高校生）は六月に選考予定



第6回びわこ杯

全国優秀高等学校剣道大会

平成二十八年十二月二十四日（土）

於 滋賀県湖南市総合体育館

滋賀県湖南市総合体育館で開催されました「第六回びわこ杯全国優秀

高等学校剣道大会」において、敦賀

高校が女子団体優勝を果たしました。全国から男子五十四チーム、女子三十九チームの強豪校が参加し、試合

結果は次のとおりです。

○男子団体

優勝 西大寺高等学校（岡山県）

第2位 三重高等学校（三重県）

第3位 履正社高等学校（大阪府）

第3位 都城東高等学校（宮崎県）

○女子団体

優勝 敦賀高等学校（福井県）

第2位 東海大仰星高等学校

第3位 米子松蔭高等学校（大阪府）

第3位 郡上高等学校（岐阜県）

第3位 郡上高等学校（岐阜県）



（女子団体決勝戦）

敦賀高5/3

先鋒 山川

次鋒 田辺

中堅 小辻

1/1東海大仰星高

西村

村川

川原林

第26回全国高等学校剣道選抜大会

剣道選抜大会

平成二十九年三月二十六日（日）

（二十八日（火））

於 愛知県春日井市総合体育館

男子団体

1回戦

敦賀 1-1 高山西（岐阜）

代表戦

副将 池田 メコ

大将 堤腰 メメ

山崎

山下

2回戦

敦賀 0-0 久御山（京都）

代表戦

堤腰（敦賀）-メ 森脇（久御山）

第33回魁星旗争奪

全国高校女子剣道大会

平成二十九年三月二十九日（水）

（三十一日（日））

於 秋田県立武道館

三月二十九日（水）～三十一日

（日）に秋田県立武道館で開催され

ました「第三十三回魁星旗争奪全国

高校女子剣道大会」において、敦賀

高校がベスト8入りを果たし、大将

の堤腰選手が優秀選手賞を受賞しま

した。全国から一六九校が参加し、



敦賀高校女子チーム

（左から久保、山川、笠嶋、堤腰、田辺、池田、小辻）

トーナメント戦を行いました。敦賀高校の試合結果は次のとおりです。
○敦賀高校の成績

- 2 回戦 敦賀3-0 磐城(福島)
- 3 回戦 敦賀1-0 秋田商(秋田)
- 4 回戦 敦賀1-0 奈良大付(奈良)
- 5 回戦 敦賀3-0 秋田北(秋田)
- 準々決勝 島原(長崎) 1-0 敦賀

- 優 勝 中村学園女(福岡)
- 第2位 桐蔭学園(神奈川)
- 第3位 守谷(茨城)、島原(長崎)

地区連盟だより

トップアスリート 剣道教室を開催

平成二十九年一月七日(土)

於 越前市武道館剣道場

講師 鎌土六段

網代忠勝先生(兵庫県警察)

暖冬の陽気の中、越前市剣道連盟では恒例となったアスリート剣道教室を開催しました。午前は小学生、午後は中学生が受講する計画でしたが、朝から中学生が多数参加し、小学生の元立ちとして頑張っていました。市内のスポーツ少年団八団から高学年五十三名、中学八校から八十四名が参加しました。

今回の講師は昨年の第一六回世界

剣道選手権個人優勝を果たした、鎌土六段網代忠勝先生です。稽古は、素振り、打ち込み、地稽古と進みました。特に素振りの段階で、「充実した氣勢」を大切に強調され、大きく発声し、強そうに感じさせる構えを指導されました。

地稽古には各スポーツ少年団から代表の二名ずつが、網代先生に稽古をつけてもらい、アドバイスをを受け、またとない「お年玉」となりました。最後に、網代先生と小学生とのジャンケン大会をして、勝ち残った二人に、世界剣道選手権優勝記念の手拭いがプレゼントされました。厳しい中にも楽しさがある有意義な剣道教室の一日でした。

(記 越前市 玉村 伸治)



福井市剣道選手権大会

平成二十九年三月十二日(日)

於 福井県立武道館

団体の部

小学校の部

優 勝 福井東部少年剣道教室

準優勝 福井少年剣道クラブ

第3位 森田少年剣道教室



中学校男子の部

優 勝 明倫中学校

準優勝 高志中学校

第3位 大東中学校



中学校女子の部

優 勝 森田中学校

準優勝 大東中学校

第3位 明倫中学校

高等学校男子の部

優 勝 藤島高等学校

準優勝 啓新高等学校

第3位 北陸高等学校



高等学校女子の部

優 勝 北陸高等学校

準優勝 高志高等学校

第3位 藤島高等学校

個人の部

小学校5、6年男子の部

優 勝 豊田 大輔

(福井少年剣道クラブ)

準優勝 松岡 輝

(松岡少年剣道教室)

第3位 堀内 謙信

(福井少年剣道クラブ)

第3位 小林 汰誠

(森田少年剣道教室)



小学校5、6年女子の部
優勝 下中 沙友

(木田剣道スポーツ少年団)

準優勝 宮本 沙彩

(福井東部少年剣道教室)

第3位 重永 花歩

(福井少年剣道クラブ)

第3位 中村 光来 (五常館)

小学校4年以下の部

優勝 安達 一識

(木田剣道スポーツ少年団)



準優勝 藤田 元基

(五常館)

第3位 鈴木 陸史

(福井東部少年剣道教室)

第3位 福嶋 良仁

(木田剣道スポーツ少年団)

中学校男子の部

優勝 富田 快斗 (明倫中学校)

準優勝 坂東 快心 (至民中学校)

第3位 岡田佳志彦 (明倫中学校)

第3位 飯田 晃己 (藤島中学校)

中学校女子の部

優勝 中野 扇沙 (明倫中学校)

準優勝 小林 友 (明倫中学校)

第3位 竹元 樹来 (明倫中学校)

第3位 古市 暖乃 (森田中学校)

高等学校男子の部

優勝 加藤 竜也(啓新高等学校)

準優勝 荒川 湧祐(藤島高等学校)

第3位 一条 祐太(啓新高等学校)

第3位 山腰 賢伸

(福井工業大学付属福井高等学校)

高等学校女子の部

優勝 西澤 朱音(北陸高等学校)

準優勝 吉寄 月海(北陸高等学校)

第3位 妙珍 加奈(北陸高等学校)

第3位 北川 綾華

(福井工業大学付属福井高等学校)

みんなの広場

剣道部・ クラブ紹介

福井地区剣道連盟

昭和二十七年連合軍による剣道禁止が解除されたのを機に、昭和二十八年一月当地の剣道家により、当剣道連盟が設立された。当初は少年と一般に分かれて稽古を行っていました。

少年の部は、福井警察署の道場を借用し、一般の部は、福井県織物検査場を夜間借用し稽古を行い、徐々に剣道人口が増加していった。

福井国体の招致決定を受け、昭和四十一年に福井市宝永三丁目三階建(一階相撲場、二階柔道場、三階剣道場)の福井県立武道館が建設された。活動拠点も同武道館に移転し稽古を続けることになる。昭和六十三年には、社会を明るくする運動の協力団体として、法務大臣から感謝状を賜っている。

平成元年に福井市三ツ屋町に現在の福井県立武道館が建設されたのに伴い、旧武道館(現在、福井市立郷土歴史博物館)は取り壊しとなり、当連盟の稽古場所も新同武道館に移り、現在に至っている。

また、平成三十年には二巡目国体の剣道競技が福井市で開催されるに当たり、当連盟は、本県剣道界の核心的存在であり、名実共に恥じないように、運営機能向上に努めていきたいと考えている次第です。

〈主な行事〉

- ・ 定例稽古会
- ・ 毎週火曜日、木曜日、土曜日 午後七時～(居合道)、 同七時三十分～八時三十分(剣道)
- ・ 寒稽古 (毎年一月初旬～中旬)
- ・ 剣道級位審査会 年四回
- ・ 福井市民体育大会剣道競技の部 (中学校、高等学校対象)
- ・ 福井地区少年剣道錬成大会 (毎年十月開催)
- ・ 福井市剣道選手権大会 (小学校、中学校、高等学校対象)

〈役員〉

- | | |
|------|-------|
| 会長 | 荻原 昭人 |
| 副会長 | 岡田 盛 |
| 副会長 | 河越 純二 |
| 副会長 | 川野 学 |
| 理事長 | 松井喜代治 |
| 副理事長 | 柳原潤一郎 |
| 副理事長 | 山本 英俊 |

副理事長 小辻 省一
 副理事長兼事務局長 船田久三郎
 事務局次長 小西 規代



栗野剣道教室

栗野剣道教室は、小学生12名が栗野小学校の体育館で毎週月曜日と金曜日に6時半から基本練習を中心に約2時間活動をしています。現在、3年生が7名と小さい子が多いですが、個性豊かなメンバーがそろっており休憩時間も仲良く明るい教室です。試合では、なかなか勝つことは難しいですが、喜びや悔しさを、共感しながら上級生も日々頑張つて練習しております。

卒業した、中学生や高校生も時間が合うと、練習に参加してくれたりもしている方々に支えて頂きながら活動しております。歴史ある教室がこれからも、心身に仲間と成長していける教室が続いていくように活動していきます。



栗野中学校剣道部

栗野中学校剣道部は、男子18名、女子6名の計24名で日々の稽古に励んでいます。私たちのモットーは「切磋琢磨」です。性別や学年・学校関係なく、いろんな人と竹刀を交えることで、多くのことを得られると思っております。

前述の通り、私たちは県内の剣道部の中でも部員数が多いチームです。剣道経験は様々ですが、小学校から剣道を続けてきた人は、周りを引つ張つていけるよう気にかけています。中学校から始めた人は、それに追いつこうと頑張っています。昨年の夏に3年生の先輩が引退してからも、2年生と1年生で協力しながら稽古に励んできました。今は常にお互いがお互いを意識する存在になっています。その成果もあつてか、女子は嶺南剣道大会で入賞、男子も団体や個人で結果を残しています。



今、私たちは男女ともに夏の地区大会優勝・県大会上位入賞を目標に、厳しい稽古に取り組んでいます。剣道ができること、指導してくださる先生方がいて、チームのたくさんの仲間がいることを当たり前と思わずに、より一層の努力をしていきます。

敦賀気比高等学校剣道部

私たち敦賀気比高等学校剣道部は、三年生四名、二年生十七名、一年生十三名で活動しています。県内では一番部員が多いチームですが、全員



で切磋琢磨し合いながら日々練習に励んでいます。私たちの剣道部には、全中出場経験のある選手から、高校から剣道を始めた選手、海外からの留学生まで幅広く様々な選手がいるのが特徴です。また「継続力也」の言葉をモットーに、諦めず、粘り強く、毎日の稽古を積み重ねています。敦賀気比高等学校剣道部は昭和六十二年に創部され、今年度は三十周年を迎える節目の年でした。昨年十二月には、その記念事業として、埼玉県警の米屋勇一先生をお迎えして剣道教室を開催しました。県内各地から小中学生百五十余名が参加し、盛大に執り行うことができました。三十年前、一同好会として部員五人から始まった剣道部が、全日本でも活躍するような先生をお迎えして、このような事業を行えたのは、まさに部のモットーである「継続力也」の言葉通りであると改めて実感しております。物事を続けることの大切さを子どもたちと一緒に身を以て学びながら、次の四十年、五十年に向けて益々励んでいこうと思います。



剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十九年二月十二日(日)

於 越前市武道館

「初段」五十六名

鹿取 倅之介 (大東中一年)	竹澤 礼 (中央中一年)	山田 浩仁 (勝山中中一年)	上埜 心寛 (大東中一年)	山下 慶士 (今庄中一年)	徳橋 知輝 (明倫中一年)	吉田 陸人 (中央中一年)	熊田 悠太郎 (鯖江中一年)	森 優治郎 (勝山中中一年)	岩崎 吏玖 (越前中一年)	小石川 拓真 (鯖江中一年)	前田 怜音 (丸岡中一年)	高井 凱斗 (高志中一年)	森 恵誠 (中央中一年)	大和 泰雅 (鯖江中一年)	富田 光星 (越前中一年)	中村 圭輔 (小浜中一年)	酒井 翔太 (栗野中一年)	森下 壮志 (鯖江中一年)	天谷 蓮 (中央中一年)	小林 大芽 (栗野中一年)	平田 晃司 (勝山南中一年)	鈴木 穂 (今庄中一年)	中村 翔太郎 (中央中一年)
----------------	--------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	----------------	---------------	----------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	----------------	--------------	----------------

宮崎 高熙 (栗野中二年)	中村 昂太郎 (武生一中二年)	桶谷 日高 (今庄中二年)	高島 蓮 (中央中二年)	辻本 拓人 (春江中二年)	増永 拓哉 (武生二中二年)	長谷川 柊輔 (気比中二年)	尾竹 優弥 (鯖江中二年)	山口 昇 (今庄中二年)	朝田 悠 (丸岡中二年)	後藤 匠 (東陽中二年)	中尾 拓斗 (明道中二年)	金谷 匠悟 (清水中二年)	牧田 優 (丸岡南中二年)	野尻 大樹 (春江中二年)	清水 慎之介 (鯖江中二年)	植田 佑貴 (社中二年)	畠山 仁成 (今庄中二年)	谷口 聡 (武生一中二年)	北川 一誠 (春江中二年)	佐々木 達也 (武生二中二年)	杉山 喜基 (福井大学三年)	西村 健志 (丸岡南中二年)	村井 尊 (栗野中二年)	前田 凜 (光陽中一年)	前田 みずき (菅原中一年)	木村 真理子 (今庄中一年)	小林 未来 (小浜中一年)	砂長谷 結羽 (菅原中一年)	藤原 日菜乃 (今庄中二年)	長崎 恋子 (気比中二年)	岡田 陽向 (武生二中二年)
---------------	-----------------	---------------	--------------	---------------	----------------	----------------	---------------	--------------	--------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	--------------	---------------	---------------	---------------	-----------------	----------------	----------------	--------------	--------------	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	---------------	----------------

「貳段」一三名

遠藤 慶人 (丸岡中二年)	丹後 太一 (武生一中二年)	黒川 暉瑛 (明道中二年)	熊田 慎太郎 (鯖江中二年)	野村 礼翼 (今庄中二年)	海道 慶介 (丸岡中二年)	末本 裕也 (鯖江中二年)	吉田 匠 (丸岡中二年)	吉田 貴史 (金津中三年)	山下 真奈 (武生六中二年)	大矢 ひかる (気比中二年)	宇野 しずく (武生六中二年)
---------------	----------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	----------------	----------------	-----------------

「参段」十名

遊津 孝太郎 (敦賀高二)	荒川 湧祐 (藤島高二)	京藤 尚輝 (敦賀気比高二)	刀根 航介 (敦賀高二)	西出 正輝 (丸岡高二)	城田 海斗 (北陸高二)	高木 良平 (看護師)	藤井 智宏 (自営業)	小辻 朋未 (敦賀高二)	川端 祥能 (公務員)
---------------	--------------	----------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	--------------	-------------

「五段」三名

金子 亮介 (警察官)	内藤 洋 (警察官)	竹内 弘幸 (警察官)
-------------	------------	-------------

ペンリレー

女性剣士の部屋

「一つ、剣道します。一つ、勉強します。一つ、お父さん、お母さんを大事にします。」

暑さ、寒さの厳しい日も、小学生の剣士達の元気な声が金津B&G体育館に響き渡ります。三十数年続く金津少年剣道教室では、卒業した剣士が指導者となり、親となり、親子でこの「三誓願」を合唱するようになりました。

私は中学から始めた剣道を、一時期、結婚や出産で離れていましたが、再び長男、次男と一緒に始めました。私と同様に、教室には子供さんと剣道を再開され、熱心な指導者になられている方もいらっしゃいます。

子供達が教室を巣立っていくようになると、改めて「三誓願」の言葉の深さに気付かされるようになりました。剣道の稽古の中で、気持ちりが充実し、子供達は勉強に、私達社会人なら仕事に意欲的に取り組めるのではないのでしょうか。先生方からは常に遊びでも、全力で一生懸命に取り組む事を教えていただいています。

そして稽古を続けるには、父母を始め、家族の理解、協力、応援が必要です。子供達は家族の思いに感謝し、家族を大事にするようになると思います。私も家族の理解がなければ今まで続ける事は出来ませんでした。

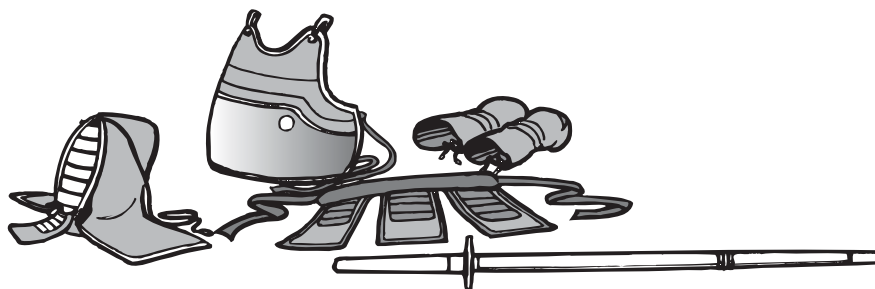
こうして今、剣道の稽古では当然のように利用していますが、このB&G体育館は私が中学生2年生までは建っていませんでした。当時、稽古場のない私達剣道部員が、ある冬の日、願

金津地区剣道連盟 齋 藤 智恵美

問の先生に案内された場所は…。「冬季限定！ストープ置き場の空き教室」でした。まるで「劇的ビフォーアフター…」の様に、「匠」に変身した剣道部員達。早速、廊下側の窓枠を外し、真っ黒にすすけた床をデッキブラシで磨いたら…。「何という事でしょう。ストープ置き場の教室が剣道場に生まれ変わったではありませんか！」改めて稽古が出来る有り難さを学びました。今では懐かしい思い出です。

さらに高校に進むと、剣道を続ける思いを深めて頂けるような恩師との出会いがありました。そして現在は、金津、坂井地区の家族のように温かく、熱心な先生方からのご指導を、また福井県内の女性剣士の方々からは、女性ならではの交流をさせて頂いています。

これからも金津の元気な子供達の「三誓願」を聞き続けられる様に、健康に気を配り、感謝の気持ちを忘れず、今までの出会いを室に剣道が続けたいと思います。



【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616